

# クラミジア感染症について！！

今回のテーマは性器クラミジア感染症についてです。

## ■ 性器クラミジア感染症とは？

近年最も多い性感染症で、人の性器や粘膜にいる細菌の一種である「クラミジア・トラコマチス」という病原体により発症します。

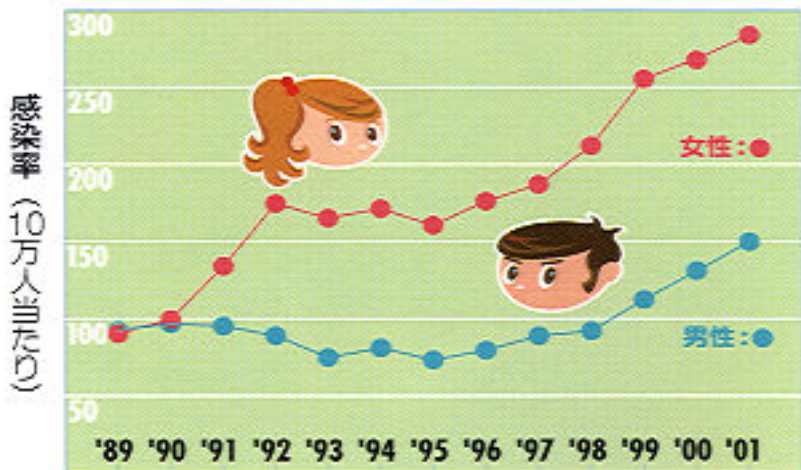
自覚症状が乏しいため放置されやすく、感染が長期化し悪化させてしまう事があります。

またその事が感染者の拡大にも繋がっています。

1回の性行為で感染する確率は50%とも言われており、感染してから1～3週間の潜伏期間を経て他の人にも感染します。

近年増加傾向にあり、年齢が下がるほど感染率は高くなっています。

## ❖ 性器クラミジアの年間感染率 ❖



(厚生省性感染症研究班データ)

## ❖ クラミジア・トラコマチス検出状況(女性) ❖



(東京都予防医学協会年報 2003年版)

## ■ 症状

**男性の場合：**感染しても約半数の人には症状はできません。症状として最も多いのが尿道炎による排尿痛、尿道から透明な液体の分泌による尿道不快感、そう痒感があります。

その他副睾丸炎、前立腺炎になることもあります。

精液所見としては精液量・精子濃度が低下することもあります。

**女性の場合：**症状がでるのは感染者の約1/4で、約3/4の人は症状ができません。

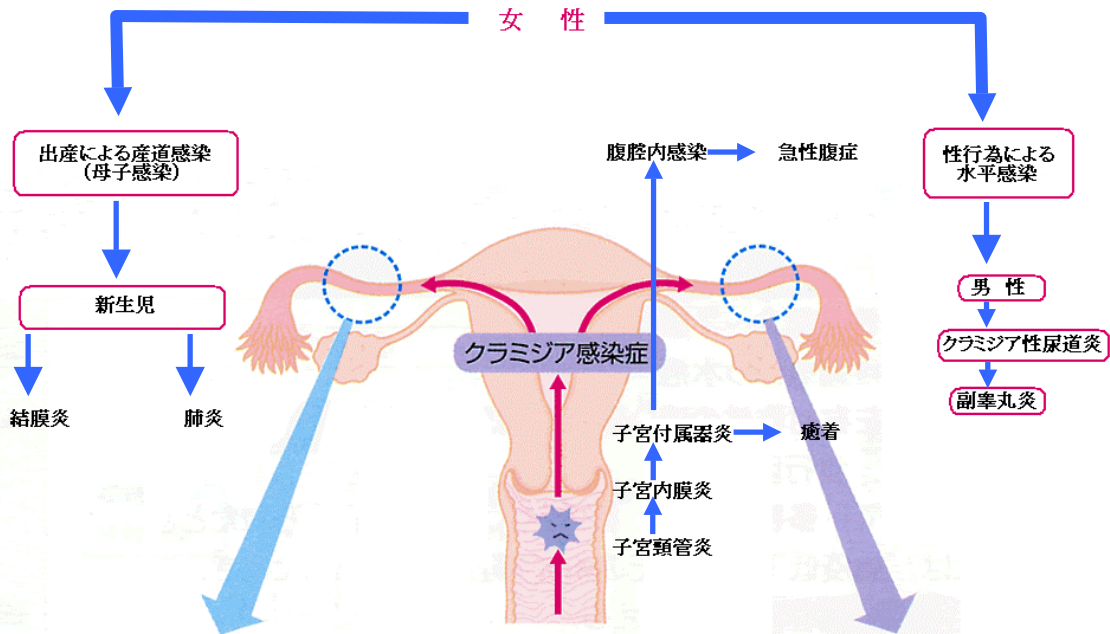
症状として最も多いのが子宮頸管の炎症で、他に、おりものの増加などがみられます。

子宮頸管炎が進展すると卵管炎や卵巣炎などの子宮付属器炎を発症させ、癒着により不妊の原因となります。

さらに悪化し骨盤内に広がると骨盤腹膜炎になります。発熱、下腹部痛といった症状がでます。

上腹部にまで感染が及ぶと激しい痛みを伴う急性肝臓周囲炎を発症します。

# クラミジアによる不妊の問題



### 卵管妊娠 (子宮外妊娠)

卵管内腔の上皮細胞がクラミジアによる炎症によって障害を受け、輸送機能が低下するため、受精卵が子宮に運ばれず卵管内に着床します。

クラミジアによって障害を受けた細胞

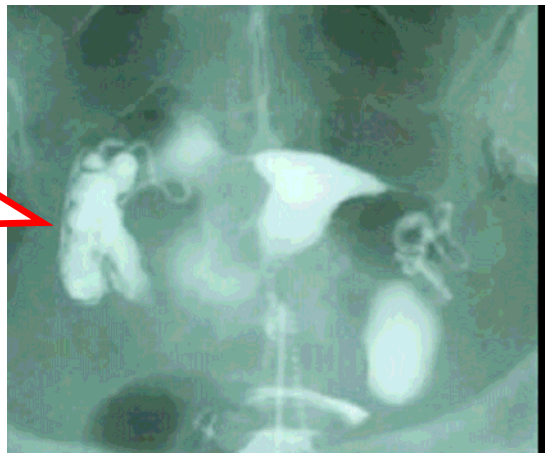
着床

### 卵管性不妊

繰り返す炎症により卵管内腔や卵管周囲に癒着が生じる。卵管狭窄や卵管閉塞などにより卵子のピックアップ障害が起きます。また精子の通過障害が生じ受精できなくなります。

■ **クラミジアによる卵管水腫**  
 卵管先端の卵管采が癒着により閉塞し卵管内容液が貯留するため卵管水腫を形成します。

クラミジアが排除される割合は、無症状、無治療で44.7% (感染1年後) →その他は**持続感染**してしまいます。



<参考文献>

病気が見える Vol. 9 婦人科 第1版 (株) MEDIC MEDIA  
 愛知県衛生研究所 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/chlamydia\\_dr\\_h.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/chlamydia_dr_h.html)

担当：検査部 金城・柳野